

「男女共同参画の視点に立った地域の課題解決」のためのプログラムデザイン

【事業名】 防災エンパワメント講座 ～男女共同参画の視点で防災力を高める～

【趣旨】 各自治体の防災担当課などを対象に男女共同参画意識啓発講座を行い、地域防災に関わる職員の意識力を高めることで、地域の防災訓練や防災セミナーを通じて地域住民一人ひとりの災害時における男女共同参画意識の拡充を図る。【遠方からでも参加しやすいようにオンラインで実施する】

課題 各自治体で男女共同参画の視点に立った防災計画や避難所マニュアルが整備されているが、なぜ地域防災に男女共同参画の視点が欠かせないのかという認識度は職員それぞれで個人差があるのではないかと

目的 地域防災に関わる職員の男女共同参画意識啓発

対象 各自治体の防災担当部署の職員

連携先 各自治体の防災担当課、男女共同参画担当課、県内女性防災士

目標 **基点・基軸の形成** **課題解決** **振り返り**

男女共同参画推進意識の形成

現状把握

課題把握・課題共有

課題解決の方策の検討

課題解決のための行動

振り返り

内容

講義①（男女共同参画の基本について学ぶ）

- なぜ地域防災に男女共同参画の視点が欠かせないのかことを理解する
- ・男女共同参画の基本知識
- ・避難所運営における性別役割分担意識
- ・統計データ（避難所で暴力被害発生率など）
- ※災害時に起こりうる諸問題を知ることによって男女共同参画と地域防災の関連性を意識づける

講義②（具体例から学ぶ）

- 過去の大規模災害発生時に避難所となった公共施設などで起こった問題を知る
- ・当事者（避難所となった施設の職員など）の実体験
- ・何が原因で問題が発生したのか、またどのような解決手段があったのか

個人ワーク①

- 大規模災害発生後の避難所における様々な問題をシミュレーションして、職員としてどのように対応するかを考える
- ・避難所の状況、時間の経過とともに発生しうる問題など、シミュレーションの詳細を事前に設定しておく（※）
- （※）相談先→減災と男女共同参画 研修推進センター

グループワーク①

- 個人ワークで考えた対応策などについて、グループの中で意見を出し合い、検討する

グループワーク②

- 各グループから出た意見を発表、意見交換
- 先進事例の紹介
- ・他県の防災担当課や危機管理担当課が取り組んでいる地域防災に関する事例について
- ・内閣府男女共同参画局が作成した「女性が力を発揮するこれからの地域防災」などを参考にする

当日アンケート
後日アンケート

方法 オンデマンド配信（90分）

個人ワーク（40分）

グループワーク（140分）